

市川市の将来人口に関する市民アンケート（結果速報）

## 1 調査概要

### ① 市民意向調査編

対象者 市川市に居住する満18歳以上の男女 4,000人（平成27年7月1日時点・住民基本台帳）  
調査方法 無作為抽出 郵送によりアンケートの配布・無記名で回収  
調査期間 平成27年8月  
回答結果 回答件数1,266件（回答率31.7%）

### ② 若者アンケート編

対象者 市川市に居住する満18歳～22歳の男女 1,000人（平成27年7月1日時点・住民基本台帳）  
調査方法 無作為抽出 郵送によりアンケートの配布・無記名で回収  
調査期間 平成27年8月  
回答結果 回答件数242件（回答率24.2%）

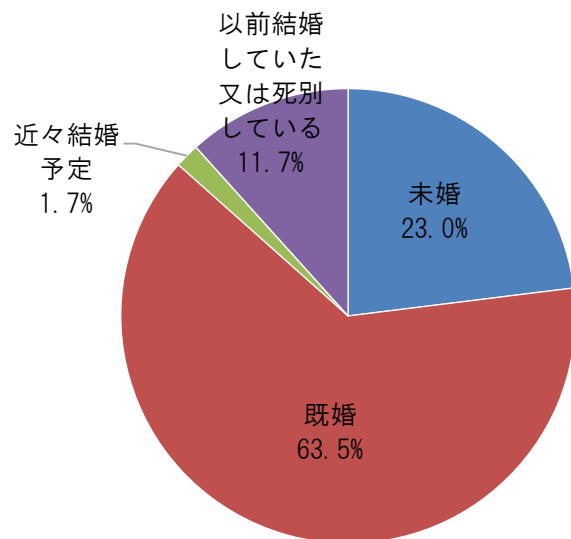
### ③ 転出者アンケート編

対象者 平成26年4月1日～平成27年3月31日に市川市より転出した満18歳以上の男女 2,000人  
調査方法 無作為抽出 郵送によりアンケートの配布・無記名で回収  
調査期間 平成27年8月  
回答結果 回答件数456件（回答率22.8%）

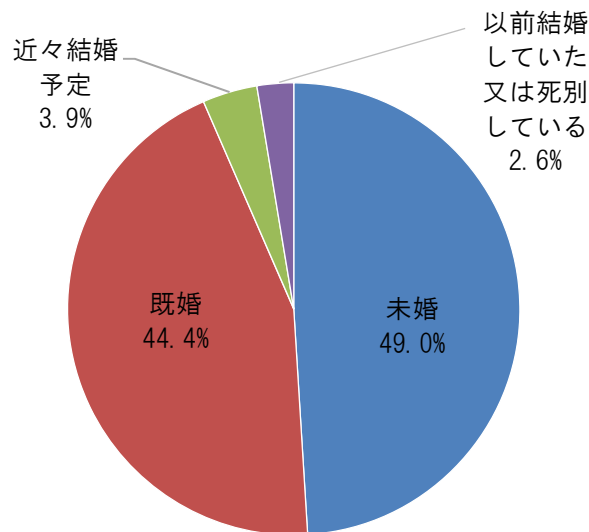
### ④ 転入者アンケート編

対象者 平成26年4月1日～平成27年3月31日に市川市に転入した満18歳以上の男女 2,000人  
調査方法 無作為抽出 郵送によりアンケートの配布・無記名で回収  
調査期間 平成27年8月  
回答結果 回答件数472件（回答率23.6%）

## 2 結婚の状況・未婚者の結婚願望

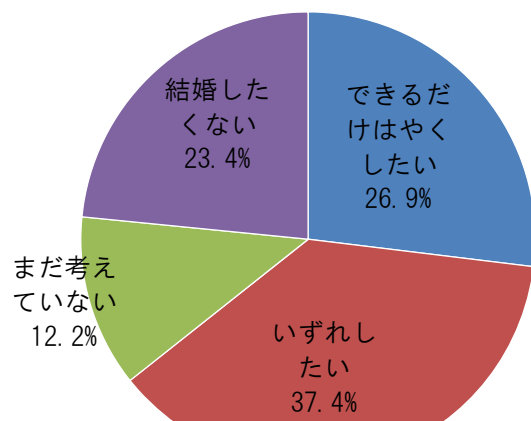


結婚の状況  
(市民意向調査・回答全体男女)



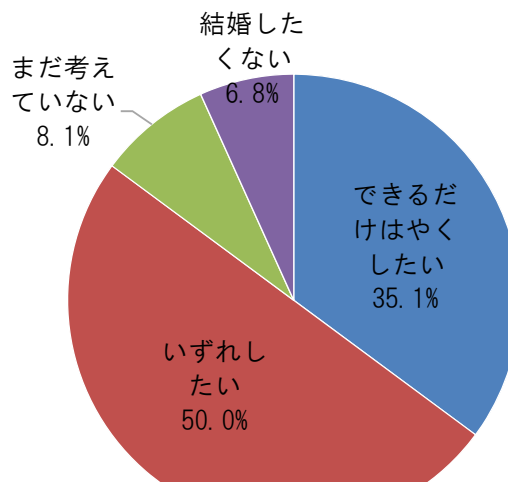
結婚の状況  
(市民意向調査・18～34歳・女性)

**(結婚の状況)**  
○アンケートでは、34歳以下の女性の独身割合は、49%となった  
(H22国勢調査・63.8%)



**結婚願望 64.3%**

未婚者の結婚願望  
(市民意向調査・回答全体・男女・未婚)

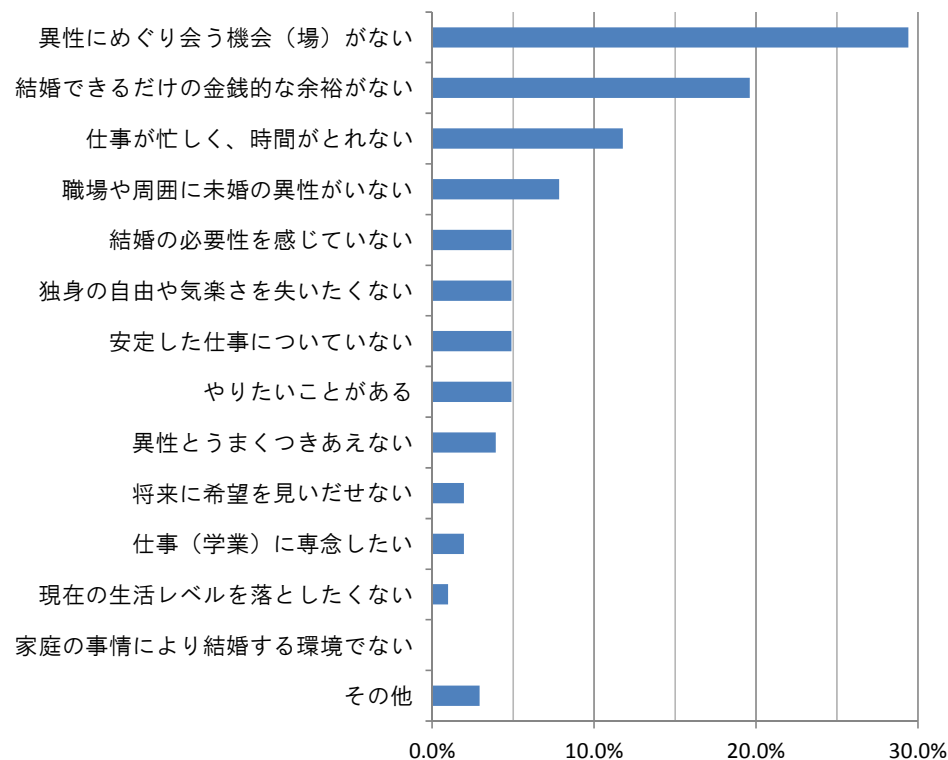


**結婚願望 85.1%**

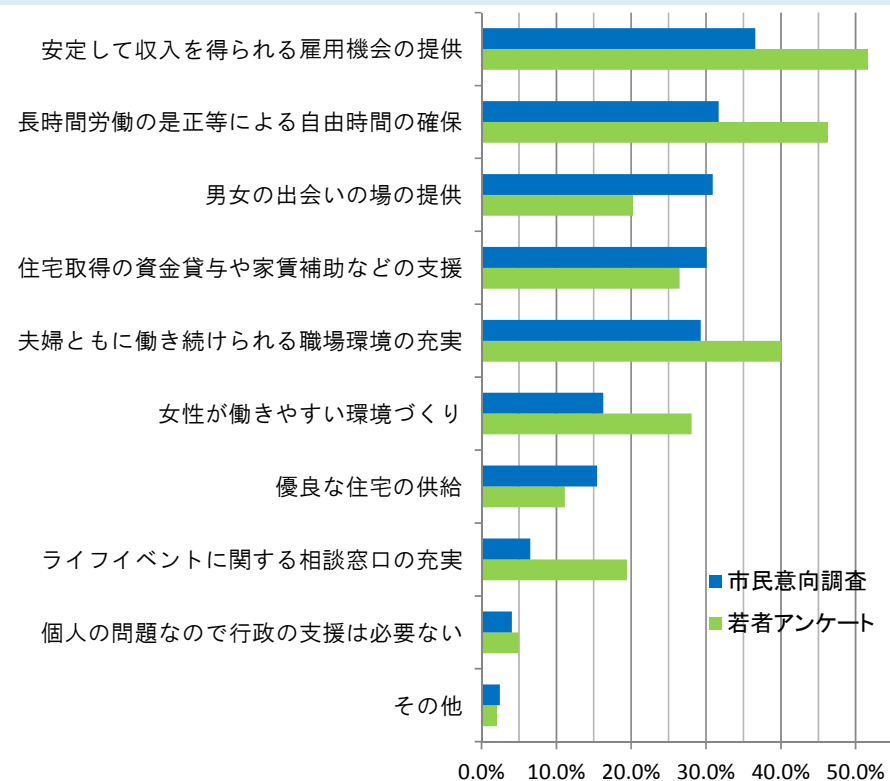
未婚者の結婚願望  
(市民意向調査・18～34歳・女性・未婚)

**(結婚願望)**  
○34歳以下の未婚女性の結婚願望は、85.1%と国調査(出生動向基本調査・89%)とほぼ同等となった

### 3 未婚・晩婚の理由・結婚したいと思えるための支援



未婚・晩婚の理由（市民意向調査・18～34歳・未婚）



結婚したいと思える環境作りのための支援  
（市民意向調査・18～34歳・未婚、若者アンケート）

#### （結婚願望）

○34歳以下の未婚者があげる未婚・晩婚の理由として、『めぐり会う機会がない』『周囲にいない』などの出会いの場がないことがもっとも多い

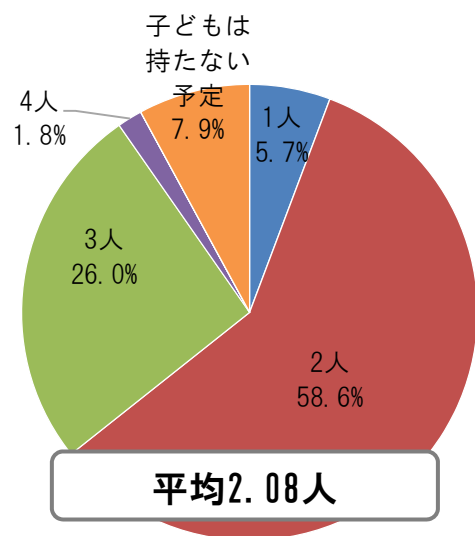
○次いで『金銭的余裕がない』という経済的理由が多くなっている

#### （結婚支援）

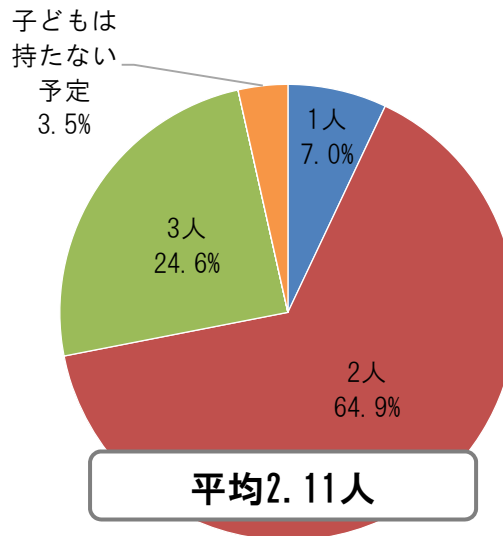
○34歳以下の未婚者の希望する支援として、『雇用の安定』のほか『長時間労働是正』『出会いの場』『住宅取得支援』がほぼ同程度となっており、全般的に支援を必要と感じているといえる

○若者では、未婚者よりも特に『雇用の安定』『長時間労働の是正』『夫婦が働き続けられる』支援に対する要望が高い

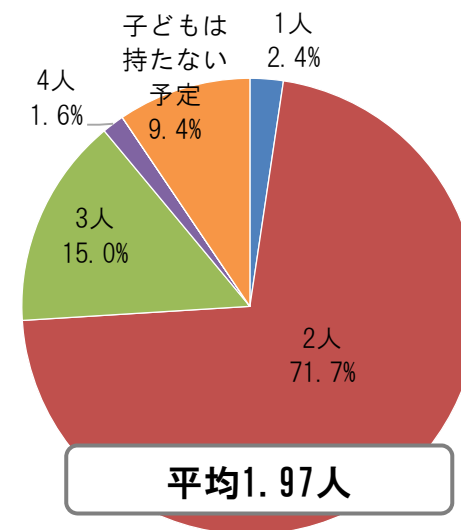
#### 4 希望している（理想とする）子どもの人数は？・希望に対する現在の子どもの状況



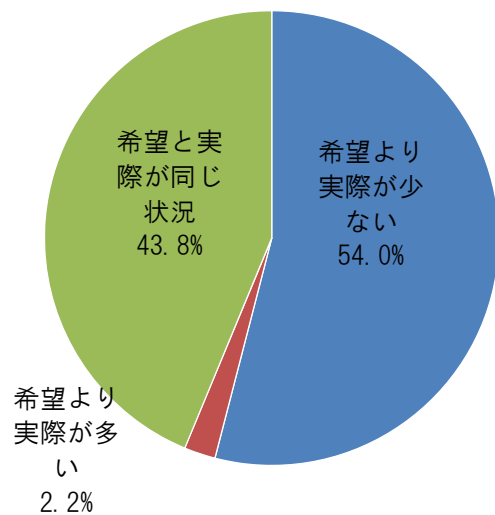
理想とする子どもの数  
（市民意向調査・50歳未満・女性・既婚者）



理想とする子どもの数  
（市民意向調査・18～34歳・女性・未婚）



理想とする子どもの数  
（若者アンケート・女性）



希望に対する現在の子どもの状況  
（市民意向調査・50歳未満・女性・既婚者）

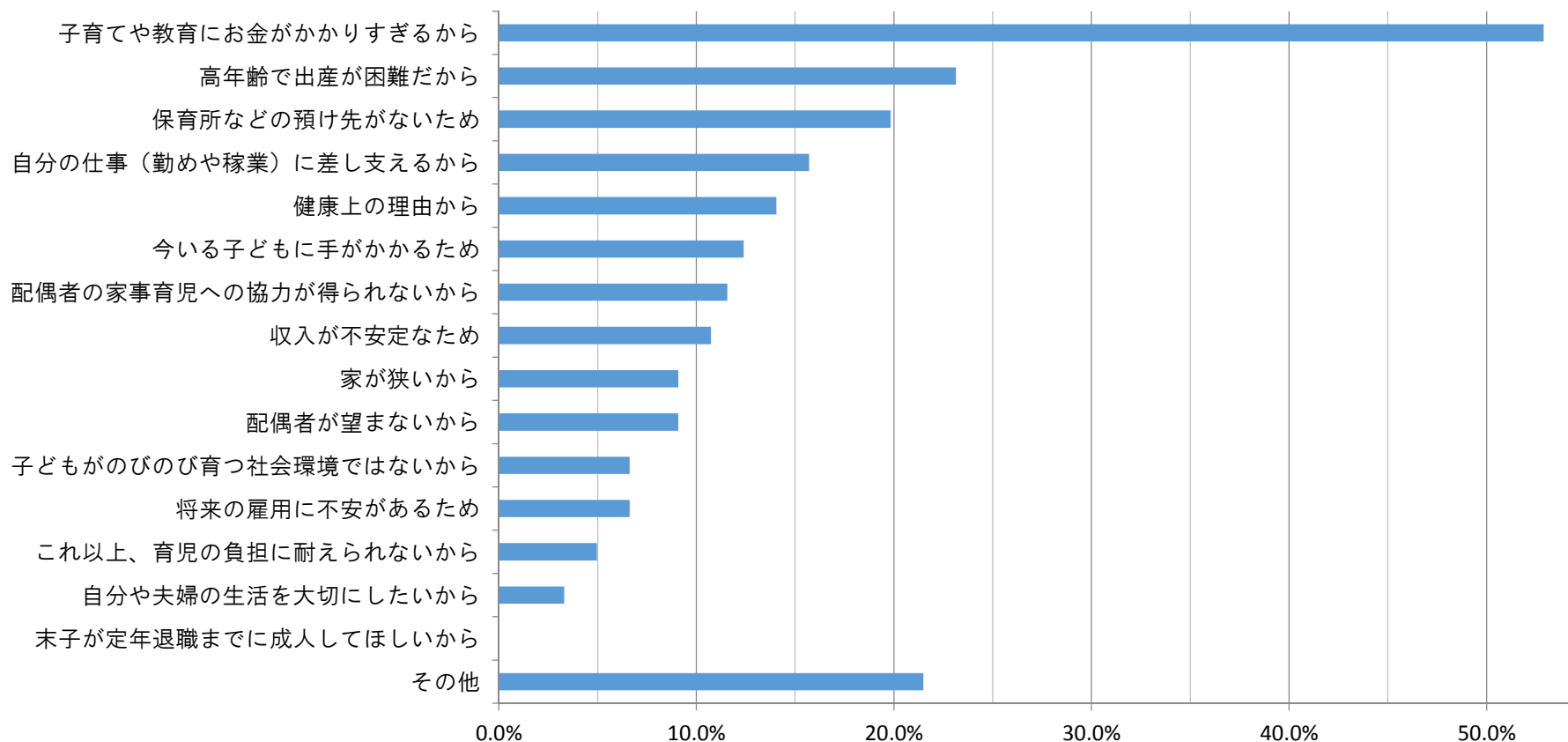
**（理想とする子どもの数）**

- 理想とする子どもの数は、既婚者・独身者ともに平均2.1人程度と国調査（出生動向基本調査・既婚者2.07人）とほぼ同等となった
- 若者の調査結果では、理想とする子どもの数は若干低い結果（1.97人）となった

**（希望に対する子どもの状況）**

- 約半数の回答が『希望より実際が少ない』となった
- 『希望よりも実施多い』という回答はほとんどなかった

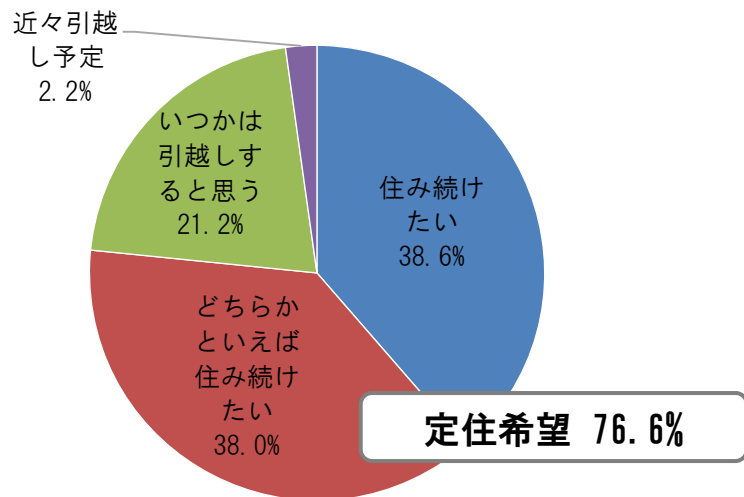
## 5 希望より実際の子どもの数が少ないと回答した人の理由（50歳未満女性既婚者）



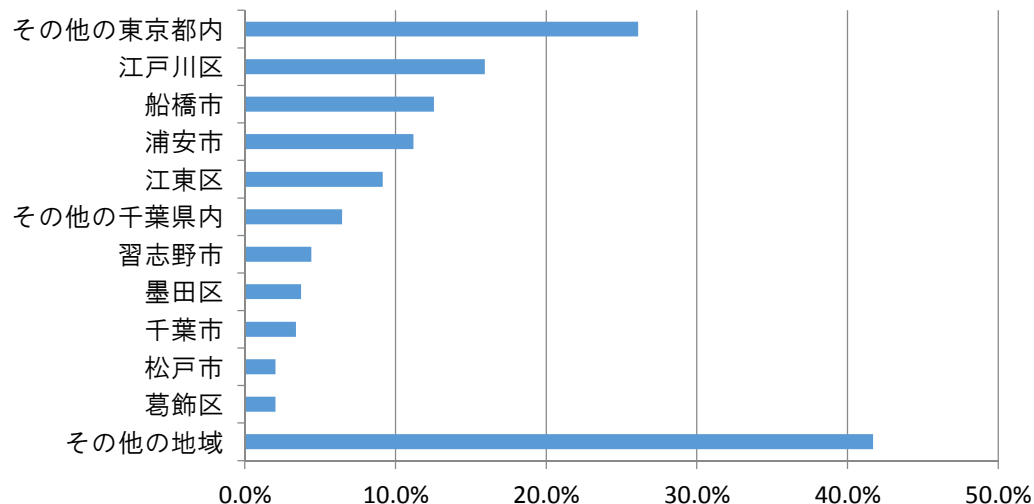
### （希望より実際の子どもの数が少ない理由）

- 『子育てや教育にお金がかかりすぎる』と金銭的な理由が、その他の理由よりも2倍以上多い結果となった
- 次いで、『高年齢で困難』『健康上の理由』といった身体的負担に関する事、
- また、『保育所などの預け先がない』『仕事に差し支える』といった仕事に関することが多い傾向となった

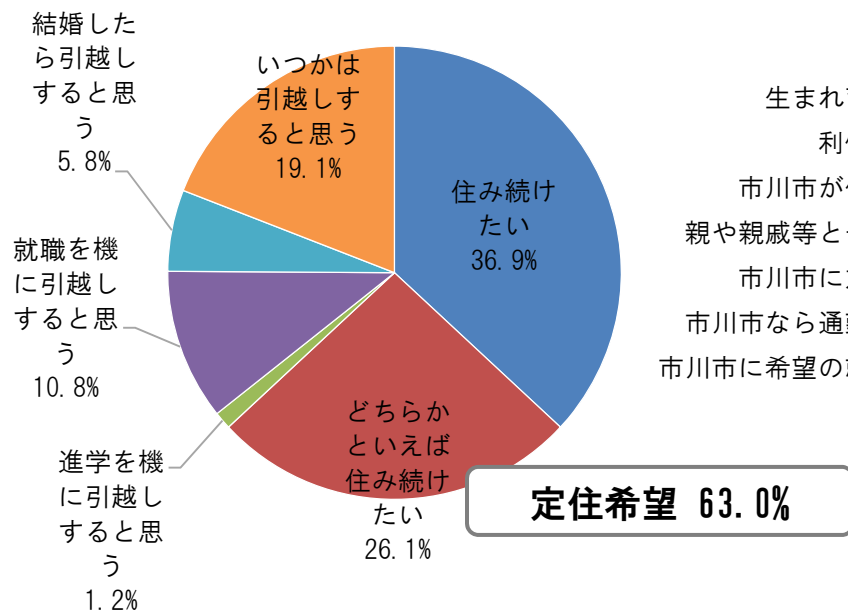
## 6 これからも市川市に住みたいか？（定住希望）



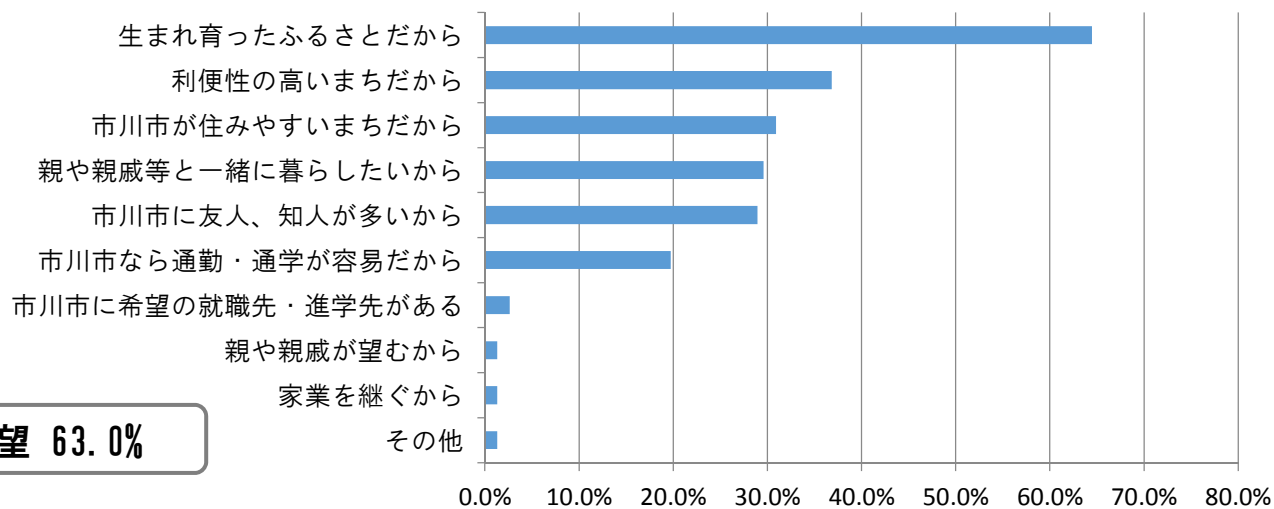
定住希望（市民意向調査）



「いつかは引越しをしよう」「近々引っ越し予定」と回答した人の希望転出先（市民意向調査）

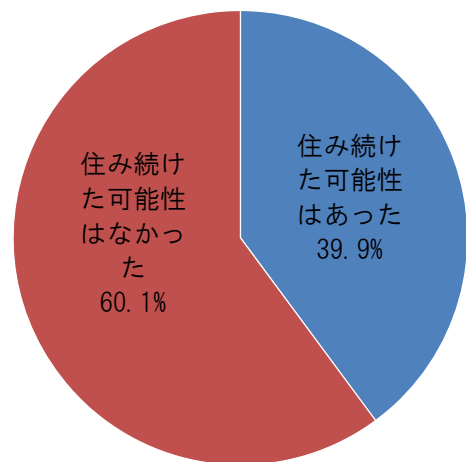


定住希望（若者アンケート）

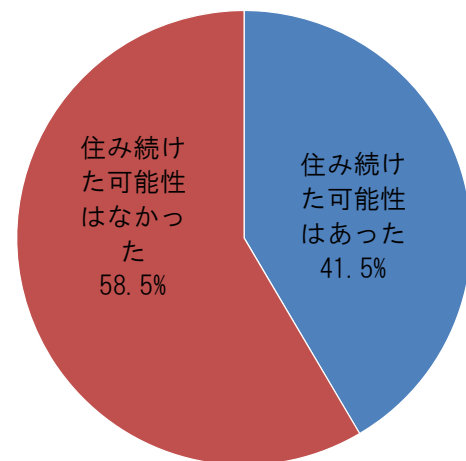


「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人の理由（若者アンケート）

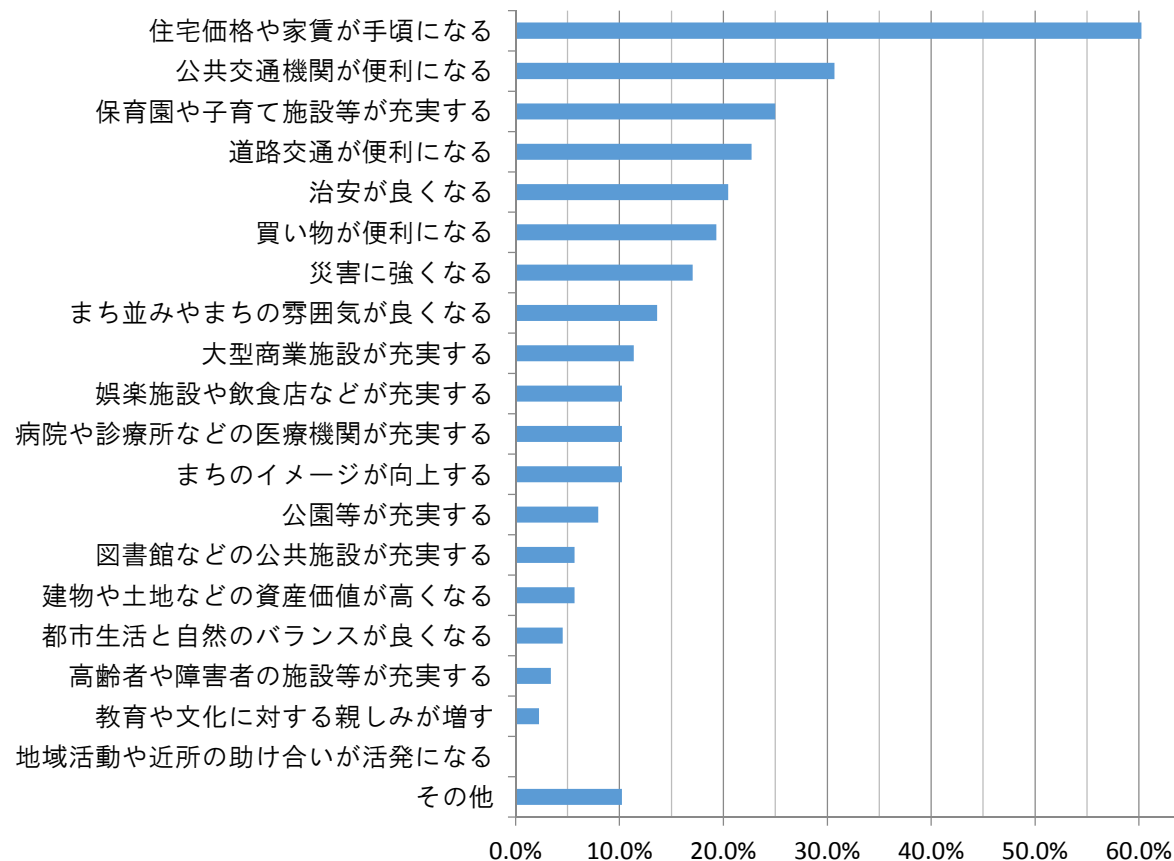
## 7 転出者は、市川市の住みやすさが向上することで、市川市に住み続けた可能性はあったか？



転出者の住み続けた可能性  
(転出者アンケート・回答全体)



転出者の住み続けた可能性  
(転出者アンケート・30~44歳)



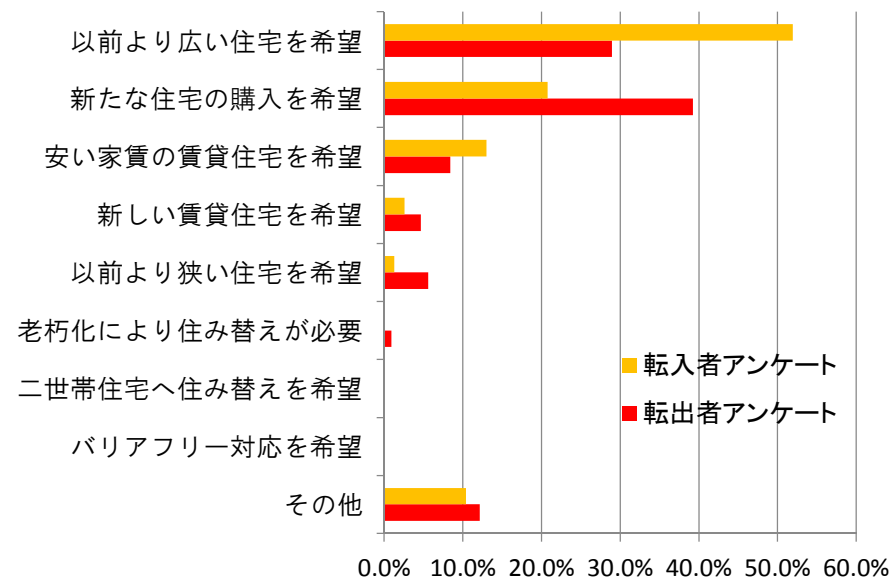
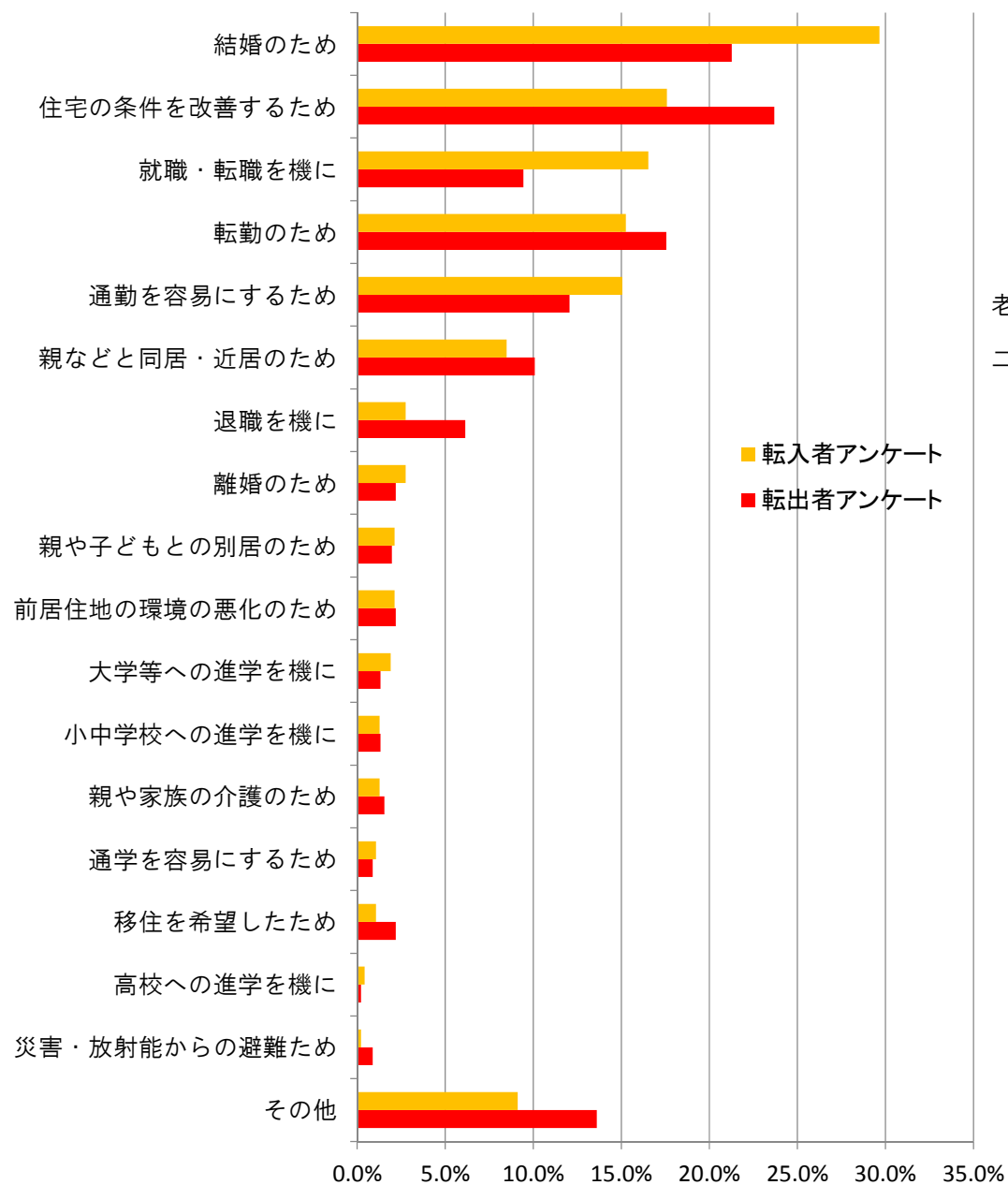
住み続けるために、市川市の住みやすさが向上する条件  
(転出者アンケート・30~44歳・住み続けた可能性があった)

### (転出者が住み続けたであろう条件)

- 転出者の約4割は、市川市の住みやすさが改善されることで住み続けた可能性があった
- その条件として、『住宅価格・家賃が手頃になる』が、その他の理由よりも約2倍多い結果となり、住み続けるためには住宅事情の改善が必要といえる
- その他、『保育園等の充実』『道路交通』『治安』などの改善なども課題といえる



## 8 転入者・転出者の引っ越し理由



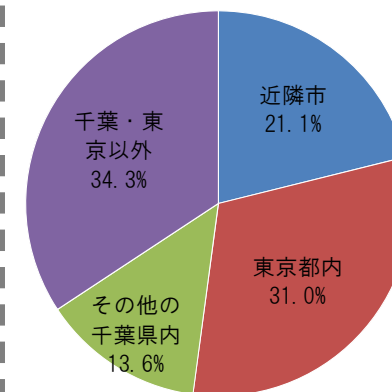
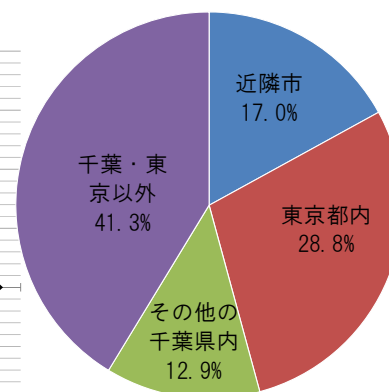
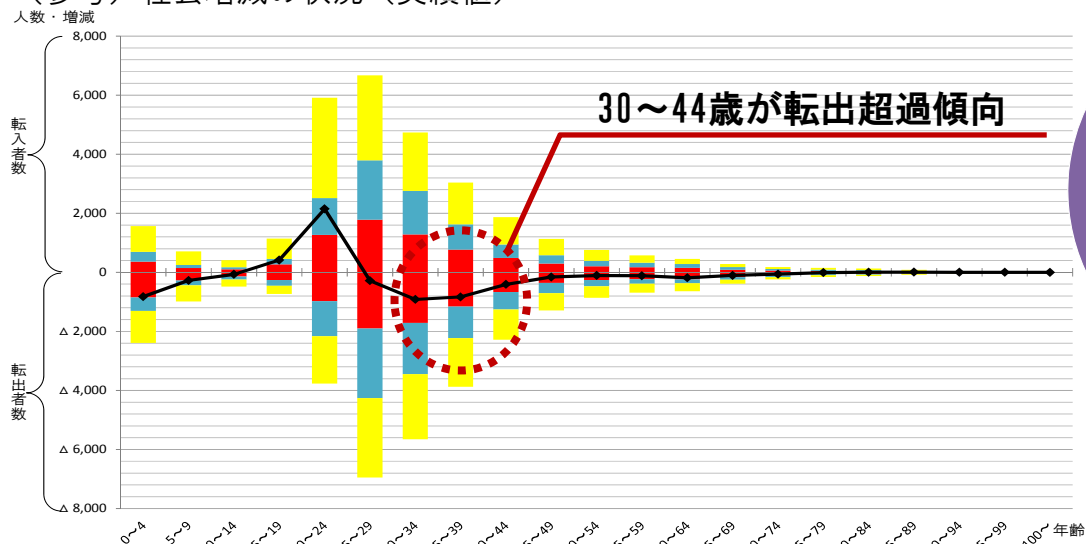
住宅の条件を改善するためと回答した人の改善内容  
(転入者・転出者)

### (引っ越し理由)

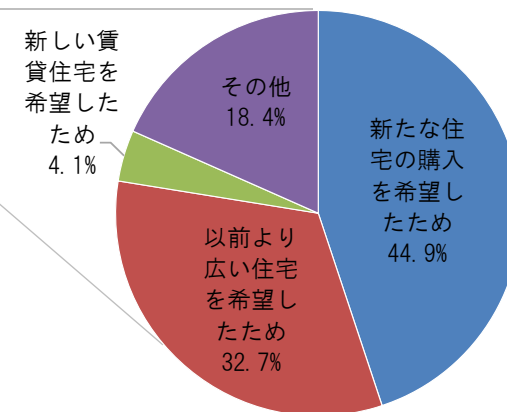
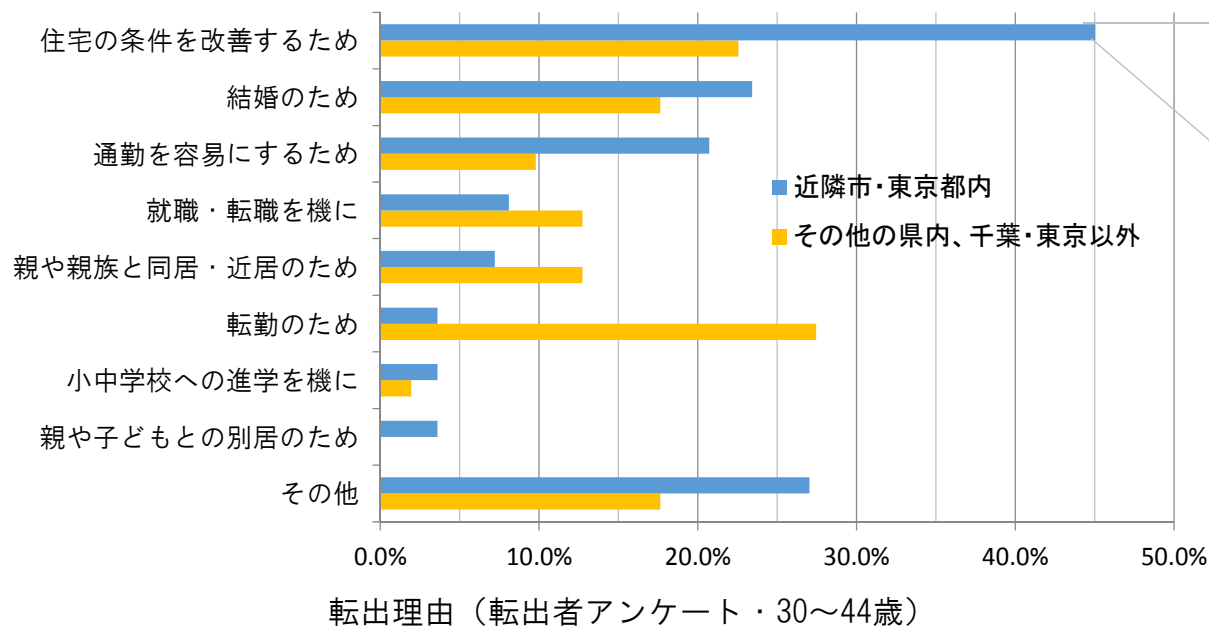
- 転入者と転出者で引っ越し理由の傾向に大きな違いはなかった
- 転入者は、『結婚を機に』『就職・転職を機に』など、転出者に比べ、新生活をスタートするために引っ越してくる傾向が高い
- 転出者は、『住宅条件の改善』が転入者に比べ高い
- 住宅条件の改善内容は、転入者・転出者ともに、『以前より広く』または『新規の購入』を希望することが主な理由となっている

## 9 アンケート結果による転出超過層の実態①

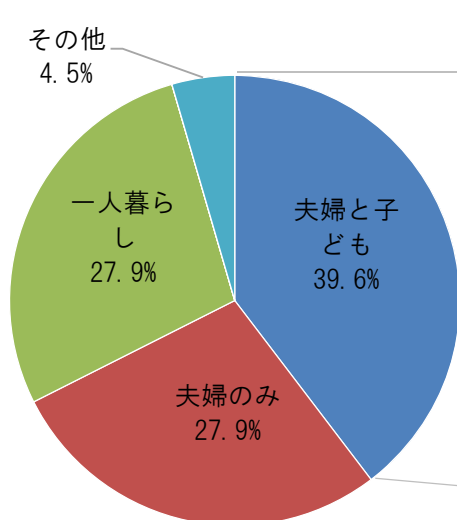
（参考）社会増減の状況（実績値）



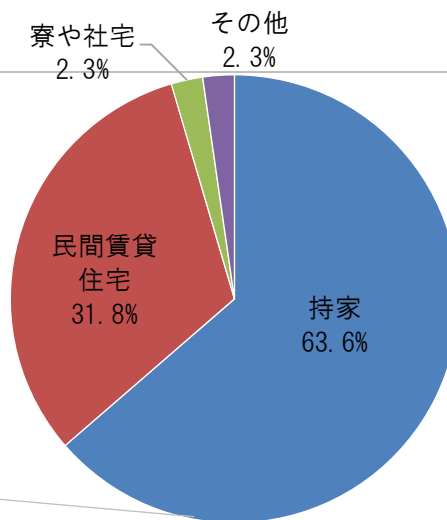
※近隣市は、船橋市、松戸市、浦安市、習志野市



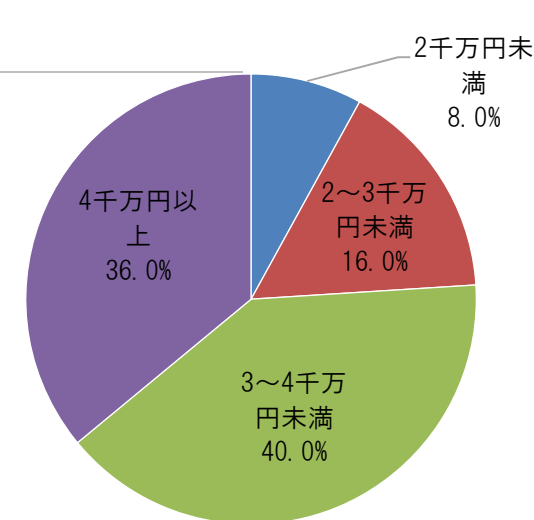
## 10 アンケート結果による転出超過層の実態②



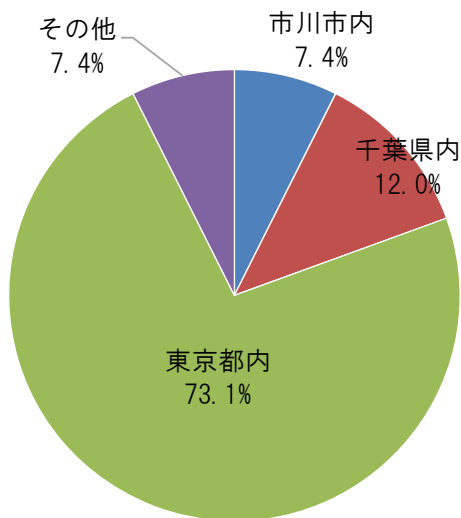
市川市から転出後の家族構成  
(転出者アンケート・30～44歳  
・近隣市・東京へ転出)



市川市から転出後の居住形態  
(転出者アンケート・30～44歳・夫婦と子ども  
・近隣市・東京へ転出)



転出先の住宅価格  
(転出者アンケート・30～44歳・夫婦と子ども  
・近隣市・東京へ転出・持家)



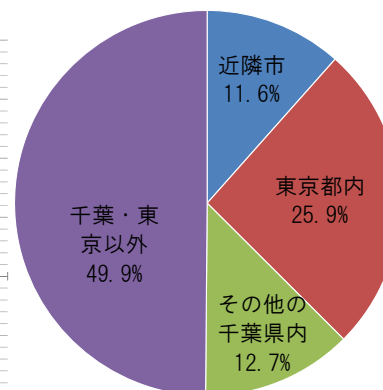
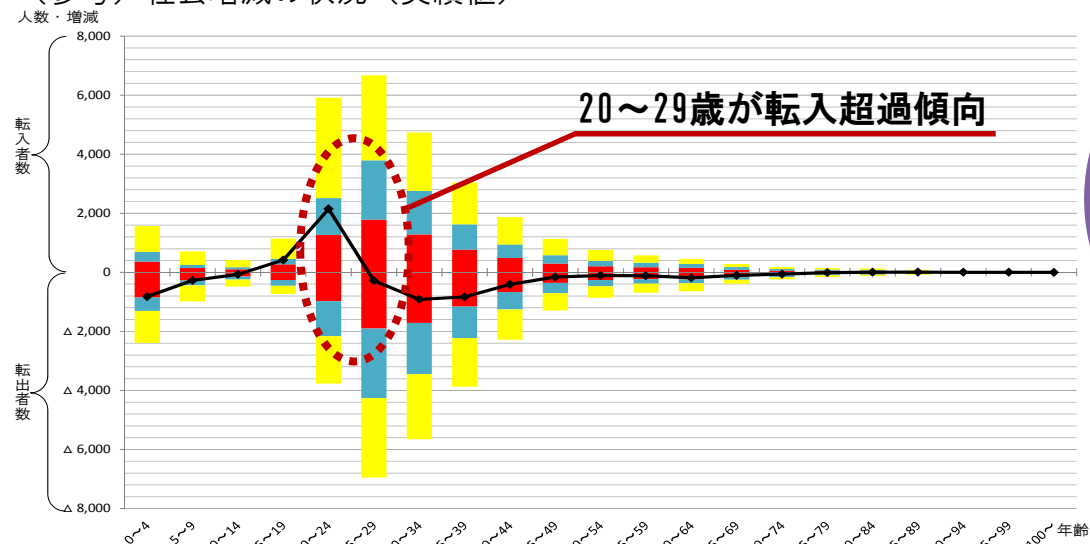
市川市から転出後の通勤・通学先  
(転出者アンケート・30～44歳  
・近隣市・東京へ転出)

### (転出超過層の傾向)

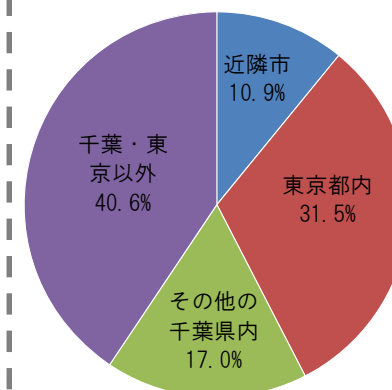
- 転出超過層（30～44歳）は、5割強が近隣市あるいは都内へ転出している
- その転出理由は、『住宅条件の改善』がその他の理由より2倍以上多い結果となった
- 『住宅条件の改善』の内容として、4割強が『新規の購入』、3割強が『以前より広く』となっている
- 転出超過層の家族構成は、『夫婦と子ども』（子育て世帯）が4割弱と最も多い
- 転出超過層の子育て世帯の居住形態は、6割強が『持家』となっている
- 転出超過層の実態として、持家の取得を基本に、住宅環境の改善のために引っ越ししている子育て世帯が多いことが伺える

## 11 アンケート結果による転入超過層の実態①

（参考）社会増減の状況（実績値）

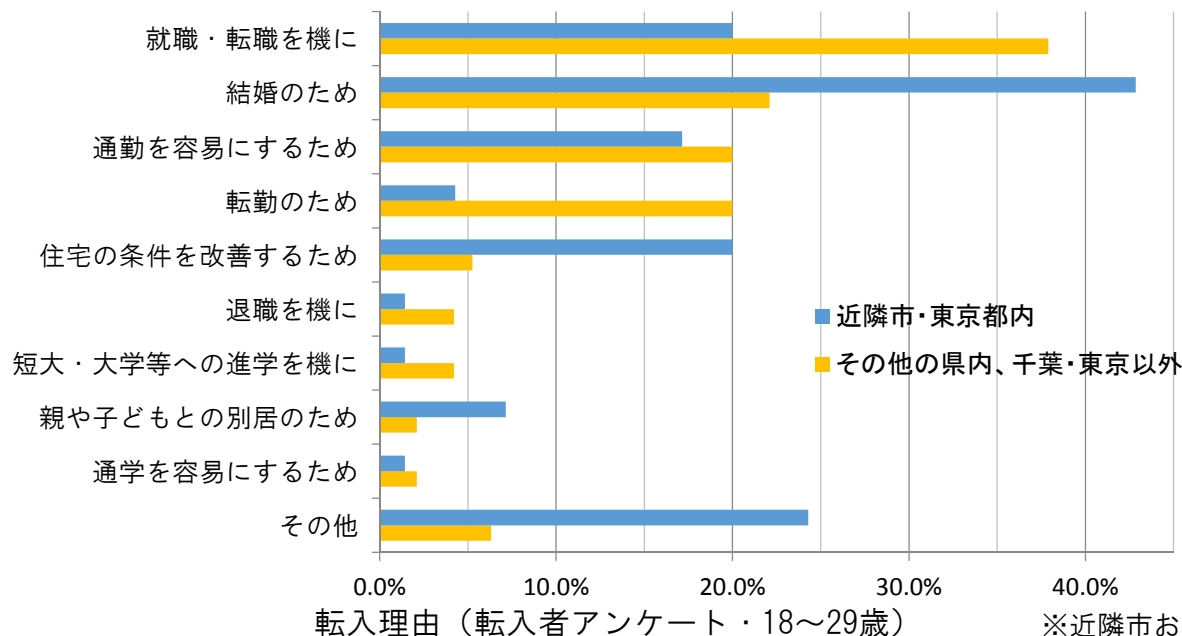


20~29歳の転入先  
（H20~26平均・実績値）



18~29歳の転入先  
（転入者アンケート）

※近隣市は、船橋市、松戸市、浦安市、習志野市

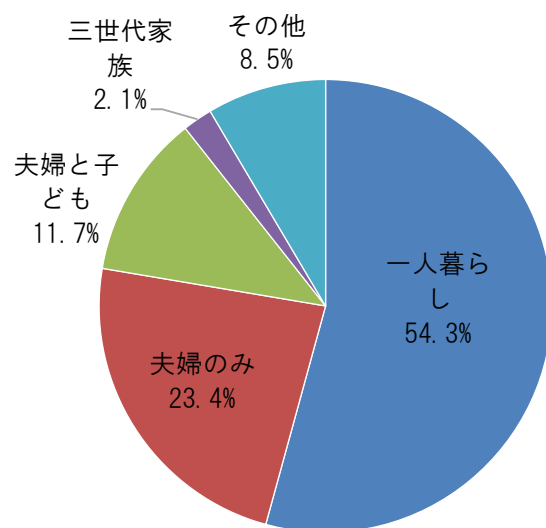


※近隣市および東京都内以外を「地方」と表記

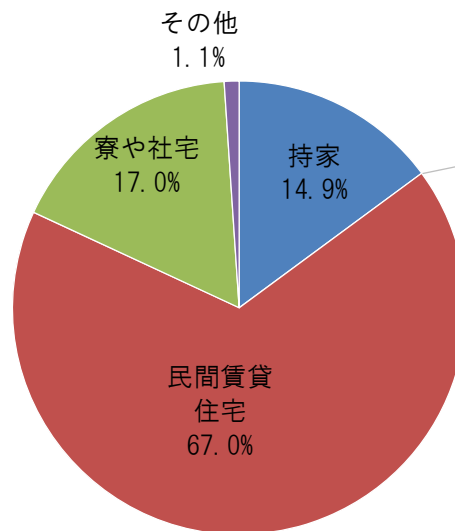
### （転入超過層の傾向）

- 転入超過層（18~29歳）の6割弱が、『県内の近隣市以外』あるいは『千葉・東京以外』の『地方』から転入
- 地方からの転入理由は、『就職・転出を機』がそれ以外の理由より2倍程度と多い結果となった
- その他、『結婚』『通勤を容易に』『転勤』などの理由がほぼ同数で多い傾向となった

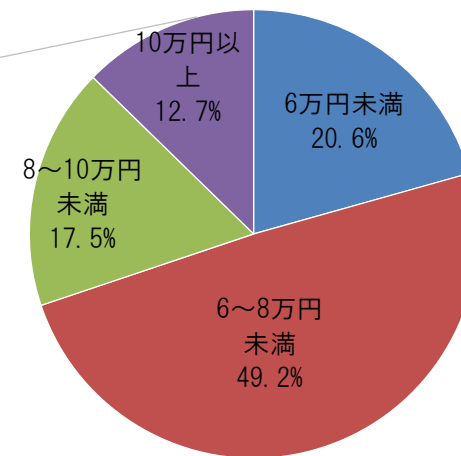
## 12 アンケート結果による転入超過層の実態②



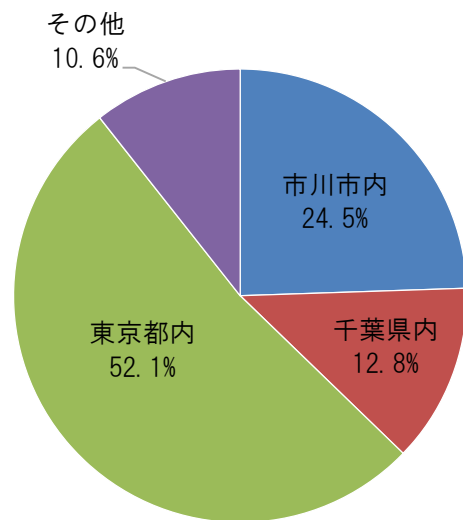
市川市へ転入後の家族構成  
(転入者アンケート・18～29歳  
・地方から転入)



市川市へ転入後の居住形態  
(転入者アンケート・18～29歳  
・地方から転入)



市川市へ転入後の家賃  
(転入者アンケート・18～29歳  
・地方から転入・民間賃貸住宅)

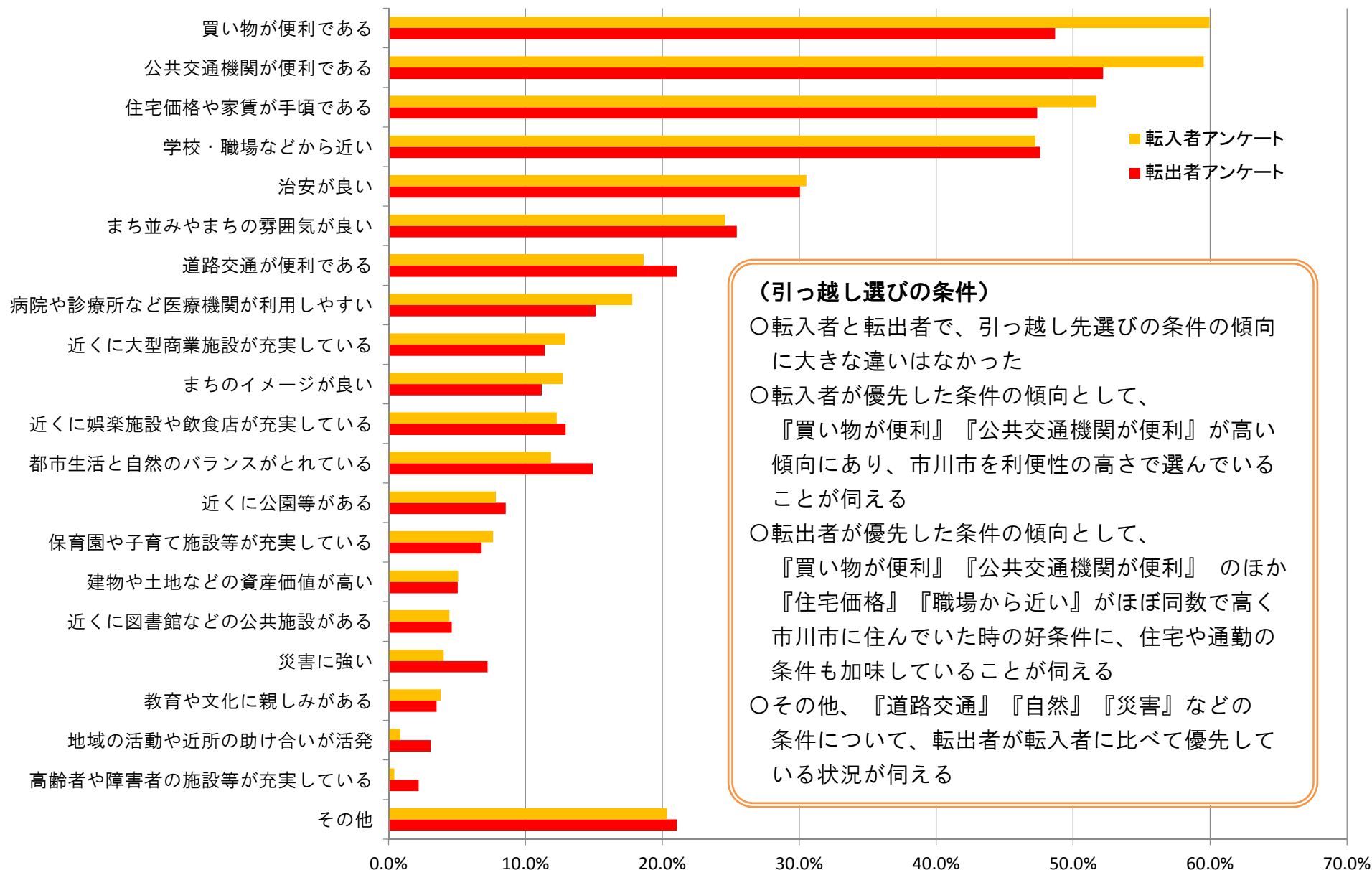


市川市へ転入後の通勤・通学先  
(転出者アンケート・18～29歳  
・地方から転入)

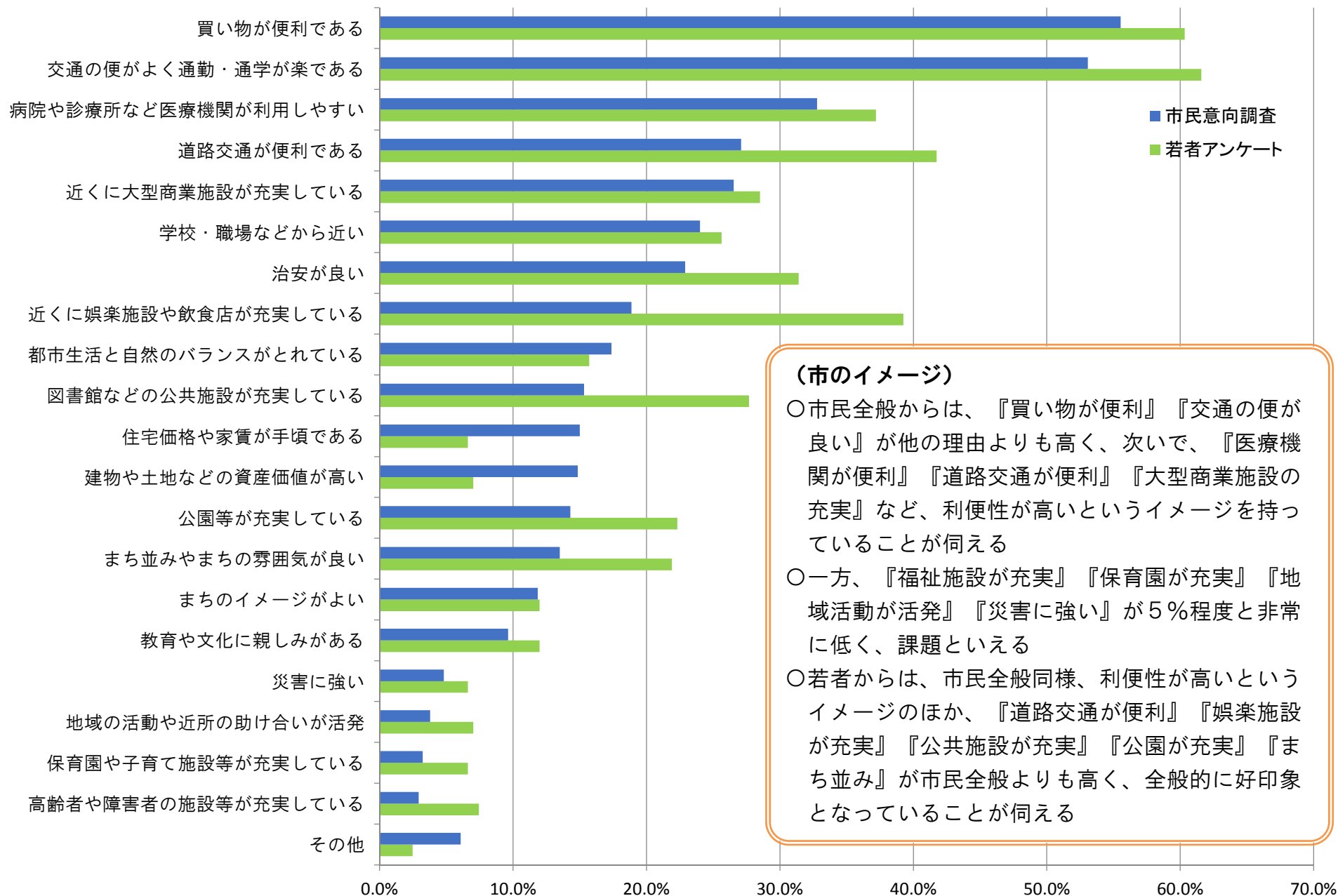
### (転入超過層の傾向)

- 転出超過層の家族構成は、『一人暮らし』が5割強と最も多い
- 居住形態は、7割弱が『民間賃貸住宅』であり、その家賃は6～8万円程度となっている
- 通勤・通学先は、『東京都内』が5割強と最も多く、次いで『市川市内』が2割強と多い
- 転入超過層の実態として、地方から、就職を機に、市川市へ引っ越しをしてきて一人暮らしを始める世帯が多いといえる

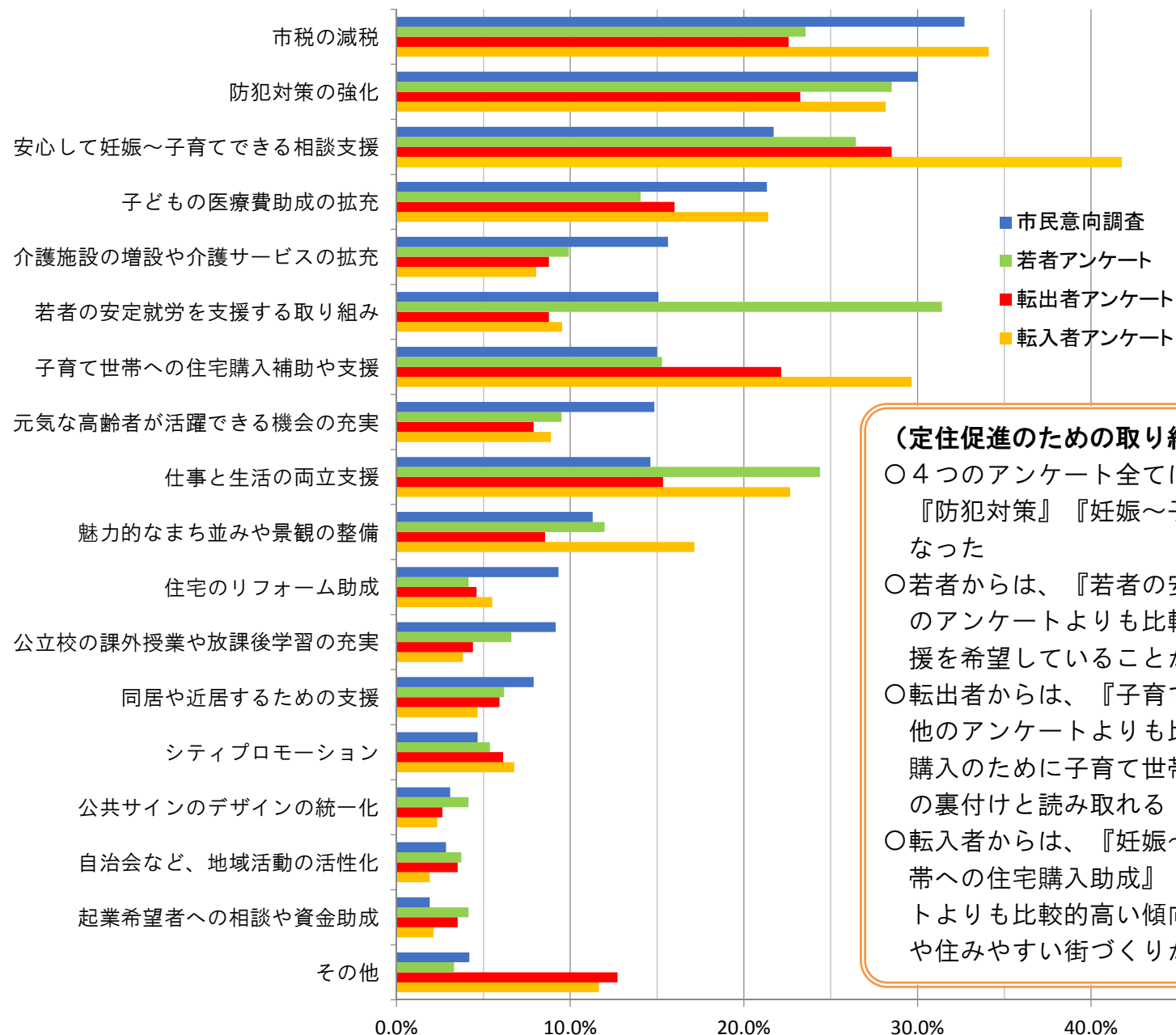
13 引っ越し先（実際に家のある場所）を選ぶ際に優先して考えた条件は？



## 14 市川市について感じていることは？（市のイメージ）



15 市川市に定住したいと思う人を増やすために実施したほうが良いと思う取り組みは？



**（定住促進のための取り組み）**

- 4つのアンケート全てにおいて、『市税の減税』『防犯対策』『妊娠～子育ての支援』が高い傾向となった
- 若者からは、『若者の安定就労』『両立支援』が他のアンケートよりも比較的高い傾向にあり、就労支援を希望していることが伺える
- 転出者からは、『子育て世帯への住宅購入助成』が他のアンケートよりも比較的高い傾向にあり、住宅購入のために子育て世帯が転出超過傾向にあることの裏付けと読み取れる
- 転入者からは、『妊娠～子育ての支援』『子育て世帯への住宅購入助成』『景観整備』が他のアンケートよりも比較的高い傾向にあり、子育て支援の充実や住みやすい街づくりが望まれていることが伺える